

コンピュータで得る自由

ICT社会教育センター伝言板 -series twentyseven-



形を変えた投げ銭文化

インターネットでの「投げ銭」について考えてみましょう。投げ銭とは、パフォーマンスに対して、観衆が金銭を恵むものです。ご祝儀の意味合いが大きい「おひねり」もあります。現在は、パフォーマンスが良かったからお金で良さを伝えたい、これからも頑張って活動を続けてほしいという応援の気持ちで行うことが多いようです。

これがインターネットの世界でも広がってきました。例えば、インターネットを利用した動画の生配信をしながら、投げ銭を受け付けています。このような投げ銭の仕組みを取り入れた配信サイトも増えています。配信コンテンツは様々で、歌や演奏、ゲーム実況などがありますが、中にはおしゃべりするだけという場合もあります。インターネットで配信する人（配信者）に投げ銭をすると、多くの場合で誰がいくら投げ銭をしたかリアルタイムで表示されます。投げ銭をする人にとって配信者は自分の好きな相手で、一般人であっても歌手や芸能人のように憧れの対象です。高額な投げ銭をすることで、名前を呼んでもらったり、メッセージをもらえたり、さらには自分の存在を他者にも示すことができるようになります。これによって自尊心が満たされたり優越感を持ったりします。特にゲームなどの課金と違うところは目に見えて他者にも分かり、投げ銭自体が競争になってしまうと、お金がいくらあっても足りなくなるということです。応援したいのか自分の心を満たしたいのか、気が付いたときにはクレジットカードの請求が高額になっていた、ということのないよう、利用方法や金額は常に確認しておきましょう。



つなぐ知 かなえる技



大阪電気通信大学

Osaka Electro-Communication University

電話：072-820-3871

メール：ict-edu@osakac.ac.jp

